

国語教養

--	--	--

教 科	国 語	単位数	2 単位	学科・学年・コース・組	他教科選択A B 3年1～7組
使用教科書	学校設定科目のため教科書なし。単元に応じて教師が作成した教材を用いる。				
副教材等	「実践 国語常識・作文ステップアップ」(数研出版)、国語辞典、漢和辞典、参考書、資料				

1 学習の到達目標

- ① 国語を的確に理解し適切に表現する能力を育成します。
- ② 伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし情緒を豊かにし、言語感覚を磨きます。
- ③ 言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成します。
- ④ 様々な文章を読み、読書に親しむ態度を育成します。
- ⑤ 進路を意識した文章(志願理由書、自己アピール文など)を書く力を育成します。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。)

月	単 元 名	主な学習の領域	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	言語種	主な評価方法
4	●作文を書く 自分をアピールする ●正しい表現 助詞・助動詞・副詞など①②	書く 知識・理解	・自己分析をとおして自分を理解し、「私の長所」を作成する。 ・語彙を豊かにし、理解し、使えるようになる。	B(ア) D(ア) (イ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント 小テスト
5	●作文を書く ディベート型作文を書く・「環境問題」 について意見文を書く ●正しい表現 誤文訂正①	書く 知識・理解	・異論や反論を想定した意見提示の方法としてディベート型 作文を書き、防衛力と説得力のある論理展開の仕方を学ぶ。 意見文の特徴を知り、「問い」と「答え」と「根拠」に着目 しながら実際に執筆する。 ・正しい表現法を理解し、語彙を豊かにし、使えるようになる。 言語感覚を高める。	B(ア) D(ア) (イ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント 小テスト
6	●作文を書く 志望動機を書く ●正しい表現 誤文訂正②③	書く 知識・理解	・自分自身の志望進路を見据え、正確な情報を入手し、志望 動機を作成する。 ・正しい表現法を理解し、語彙を豊かにし、使えるようになる。 言語感覚を高める。	B(ア) D(ア) (イ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント 小テスト
7	●漢字で自分を表す ※自己アピール文を書く ●漢字・ことば 漢字・熟語の読み書き①②③	書く 知識・理解	・自己分析をとおして自分を理解し、進路を意識した自己ア ピール文を作成する。 ・語彙を豊かにし、理解し、使えるようになる。	B(ア) D(イ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント 小テスト
9	●作文を書く 「ボランティア」について意見文を書く 最近のニュースで感じたことを書く ●漢字・ことば 漢字・熟語の読み書き④⑤⑥⑦	書く 知識・理解	・小論文の「型」としての三段構成の特徴を理解し、実際に 意識して執筆する。 ・語彙を豊かにし、理解し、使えるようになる。	B(ア) D(イ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント 小テスト
10	●作文を書く 資料を見て意見文を書く ●履歴書を書く ●漢字・ことば 漢字・ことわざ①②	書く 知識・理解	・データを理解・分析して、問題を提起し、小論文を展開さ せる。 ・実社会で役立つ実用的な知識を学ぶ。 ・語彙を豊かにし、理解し、使えるようになる。	B(ア) (ウ) D(イ) (ウ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント 小テスト
11	●手紙を書く ●面接の受け方 ●漢字・ことば 漢字・時事用語①②	書く 話す 聞く 知識・理解	・伝統的な手紙の形式を学び、場面に応じたことばの意味に ついて理解を深める。 ・実際の面接の場面を想定し、伝わる話し方について理解し て、面接における心構え・技術・実践力を習得する。 ・実社会で役立つ実用的な知識を学ぶ。	B(イ) A(ア) (イ) D(イ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント 実践
12	●敬語①②③	知識・理解	・敬語を正しく理解し、実生活でも使えるようになる。	D(イ) (ウ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント 小テスト
1	●文章読解①②	読む 書く	・語彙を豊かにし、様々な文章を読み、読解力を高める。 ・好きな本・文章を選定し、その本の紹介文を書き、発表す る。	C(ア) (イ) B(ウ) A(ア) (イ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント 実践
2	●文学史①②③ ●SPI問題にチャレンジ演習①②	知識・理解	・日本の上代から近代までの文学について知識を深め、興味 を広げる。海外文学にも触れる。 ・一般常識やSPI対策の基礎について学ぶ。	D(ウ)	授業の取組の様子 副教材 学習プリント

【上の表にある「言語活動」としては、次のようなことを行います。】

- A 話すこと・聞くこと

- (7) 話題を選んで、スピーチや説明などを行います。
- (4) 情報を収集し活用して、報告や発表などを行います。
- (9) 課題について調べたり考えたりしたことを基にして、話し合いや討論などを行います。

B 書くこと

- (7) 題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書きます。
- (4) 相手や目的に応じて適切な語句を用い、手紙や通知などを書きます。
- (9) 本を読んでその紹介を書いたり、課題について収集した情報を整理して記録や報告などを書いたりします。

C 読むこと

- (7) 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ります。
- (4) 考えを広げるため、様々な現代の文章を読み比べます。
- (9) 課題に応じて必要な情報を読み取り、まとめて発表します。

D 言語事項

- (7) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法、及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。
- (4) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。
- (9) 国語の成り立ちや特質言語の役割などを理解すること。

3 課題・提出物等

・各単元において、副教材や学習プリント、レポート等の提出、そして、実際に発表を行ってまいります。

4 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の学習の様子（発表や討論の様子、学習活動への参加状況など） ・ 学習プリントやレポート、意見文、感想文などの提出物を中心に、授業態度等を考慮して総合的に評価する。 				

5 担当者からのメッセージ

国語総合、現代文、古典の復習を基本とし、国語の基礎的知識を身につけ、更に専門な学習を行います。また、進路を意識した文章を書く力を身に付けるため、様々なテーマで作文を書きます。さらに、様々な作品を通して、その表現を学び、自らのものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書する態度を身につけるための授業を行います。